

気象災害軽減イノベーションセンターの半年間 「研究と人材の中核拠点」をめざした取り組み



気象災害軽減イノベーションセンター コーディネーター 横山 仁

はじめに

気象災害軽減イノベーションセンターは、産学官の人材、情報、技術の糾合とともに、気象災害予測情報のシステム化や、防災に関わる計測技術の性能評価、標準化等を通じ、防災科学技術の社会実装を進める「研究と人材の中核拠点」をめざして、本年4月に設立されました。

ここでは、設立後、半年間の主な活動を紹介いたします。

「研究と人材の中核拠点」をめざして

気象災害軽減イノベーションセンターでは設立以来、研究と人材の中核拠点の構築をめざしたさまざまな活動を精力的に進めています。

まず活動の皮切りとして、東京と長岡で以下のようなキックオフイベントを開催しました(写真1)。

- 「気象災害軽減イノベーションセンターキックオフシンポジウム(8月5日)」
- 「長岡サテライトキックオフシンポジウム(9月23日)」

いずれも、予想を上回る参加者があり、気象

災害軽減に対する関心の高さがうかがわれました。それぞれのシンポジウムでは、多分野のステークホルダーから、現時点での課題やニーズが示されるとともに、気象災害軽減に必要なイノベーションとは何か、また、雨や雪に伴う災害対策への直接的な要望、さらには、防災情報や防災教育、予測技術の現状と可能性等多岐にわたる積極的な議論が交わされました。

8月27日に行われた第1回防災推進国民大会(ぼうさいこくたい)では、交通分野と農業分野における気象災害軽減に焦点をあて、「攻め」の気象防災～交通と農業への波及～と題したシンポジウムを開催しました。鉄道や道路、航空、農業における現場担当者や研究者からの話題提供に基づき、今後、それぞれの分野の防災科研に対する期待と展望について具体的なやりとりが展開されるなど、有意義なシンポジウムとなりました。

こうしたイベントの開催とともに、当センターでは、IoTやAI、ビッグデータ等社会実装に向けた実現化技術や要素技術の最新動向、知的財産の活用促進等に関する下記のようなセミナーを定期的に開催しています(写真2)。

- 「気象災害軽減イノベーションセミナー」
 - 第1回：東大森川研のIoT研究(7月11日)
 - 第2回：高専機構における防災研究(8月2日)
 - 第3回：防災科研の気象防災研究(10月20日)



写真1 気象災害軽減イノベーションセンターキックオフシンポジウム(8月5日、東京大学弥生講堂一条ホール)

第4回：保有データとオープン化(11月14日)

○「成果展開塾」

第1回：NEDO等外部資金の活用(10月12日)

第2回：防災科研の知的財産(11月8日)



写真2 第3回気象災害軽減イノベーションセミナー
(10月20日、JST会議室)

関連業界とのマッチング

IoT技術や次世代センシング技術、リスクコミュニケーションといった新たな手法の活用は当センターが取り組む重要な課題です。そこで、経済産業省が進める「平成28年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備」のもとで立ち上げられた「IoT推進ラボ(日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)主催)」に当センターも加盟し、関連する業界団体やステークホルダーとの交流(マッチング)を行っています(写真3)。今までは関連が薄いと考えられてきた分野にも、多くの連携可能性があることが分かるなど、実り多い出会いの場となっています。



写真3 IoT推進ラボ「IoT Lab Connection」での交流風景
(10月4日、幕張メッセ)

防災教育関連の取り組み

当センターでは、「防災教育チャレンジプラン <http://www.bosai-study.net/top.html>」を支援するなど、防災教育にも精力的に取り組んでいます。一般に児童生徒の防災教育には、発達段階に応じた教育が必要とされますが、例えば、高校生に対しては、科学的理解を促し、学会の高校生セッション等で発表できる段階まで専門的な教育を行う一方、防災科研見学時の豪雨体験等では雨量あてクイズを入れるなど、より防災に関する知識と感覚が身につく内容を検討しています(写真4)。



写真4 高校生の防災科研見学風景
(大型降雨実験施設による豪雨体験)

おわりに

私は、4月のセンター設立と同時に、コーディネーターとして着任して以来、センター活動の円滑化に向けた調整のほか、首都圏の稠密気象情報提供システムの開発や、IoTを活用した地域防災システム開発に関する研究業務を担当しています。前職は、環境、農業関連の研究系自治体職員でしたが、そうした経験も生かしながら、今後の活動に尽力していきたいと思っています。

センターでは、今後とも気象災害軽減に関するさまざまな情報を発信していきますので、是非、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.bosai.go.jp/ihub/>